

第3 特別法犯少年

1 概況

- 特別法犯で検挙・補導した少年は71人で、前年より17人減少した。
- 法令別では、軽犯罪法違反が20人で全体の28.2%を占めて最も多く、次いで児童買春・児童ポルノ禁止法違反が17人（23.9%）、大麻取締法違反が6人（8.5%）、迷惑行為防止条例違反、麻薬等取締法違反がそれぞれ5人（7.0%）、青健条例違反、廃棄物処理法違反、風営適正化法違反、売春防止法違反がそれぞれ3人（4.2%）、鉄道営業法違反、銃刀法違反がそれぞれ2人（2.8%）、出会い系サイト規制法違反、覚醒剤取締法違反がそれぞれ1人（1.4%）の順であった。
- 前年対比では、青健条例違反が10人、迷惑行為防止条例違反が8人減少した。

特別法犯少年の検挙・補導状況

(人)

年 別 法令別	令 和 6 年	令 和 5 年	前 年 対 比 （ 増 減 ）	
			人 員	比 率 (%)
軽 犯 罪 法	20	16	4	25.0
児童買春・児童ポルノ禁止法	17	20	▲ 3	▲ 15.0
大 麻 取 締 法	6	12	▲ 6	▲ 50.0
迷 惑 行 為 防 止 条 例	5	13	▲ 8	▲ 61.5
麻 薬 等 取 締 法	5	0	5	—
青 健 条 例	3	13	▲ 10	▲ 76.9
廃 棄 物 処 理 法	3	1	2	200.0
風 営 適 正 化 法	3	0	3	—
売 春 防 止 法	3	0	3	—
鉄 道 営 業 法	2	5	▲ 3	▲ 60.0
銃 刀 法	2	2	0	0.0
出会い系サイト規制法	1	3	▲ 2	▲ 66.7
覚 醒 剤 取 締 法	1	1	0	0.0
動 物 愛 護 管 理 法	0	1	▲ 1	▲ 100.0
私事性的画像被害防止法	0	1	▲ 1	▲ 100.0
合 計	71	88	▲ 17	▲ 19.3

(注) ▲印は、減少を示す。

2 学職別

- 特別法犯少年を学職別で見ると、中学生22人が最も多く、次いで高校生20人、有職少年14人、その他の学生6人、無職少年5人、小学生4人の順であった。
- 中学生と高校生の合計は42人で、特別法犯少年全体の59.2%を占めた。

特別法犯少年の学職別状況

(人)

法令別	学職別	未就学	学 生 ・ 生 徒				有職少年	無職少年	合計
			小学生	中学生	高校生	その他			
軽 犯 罪 法			4	9	2	2	2	1	20
	うち女子								0
児童買春・児童ポルノ禁止法				9	6	1	1		17
	うち女子			2	2				4
大 麻 取 締 法					1		3	2	6
	うち女子								0
迷惑行為防止条例					2	1	2		5
	うち女子								0
麻 薬 等 取 締 法				2	1		2		5
	うち女子				1		1		2
青 健 条 例					1	1	1		3
	うち女子								0
廃 棄 物 処 理 法					1	1	1		3
	うち女子				1				1
風 営 適 正 化 法					3				3
	うち女子								0
売 春 防 止 法					1		1	1	3
	うち女子				1		1	1	3
鉄 道 営 業 法				2					2
	うち女子								0
銃 刀 法					1		1		2
	うち女子								0
出会い系サイト規制法					1				1
	うち女子								0
覚 醒 剤 取 締 法								1	1
	うち女子								0
合 計		0	4	22	20	6	14	5	71
	うち女子	0	0	2	5	0	2	1	10
前年対比 (増減)	人 員	0	1	2	▲ 14	▲ 4	▲ 2	0	▲ 17
	比率(%)	0	33.3	10.0	▲ 41.2	▲ 40.0	▲ 12.5	0.0	▲ 19.3

(注) ▲印は、減少を示す。

3 覚醒剤等薬物乱用少年

- 薬物乱用で検挙・補導した少年は12人で、大麻取締法違反が6人、麻薬等取締法違反が5人、覚醒剤取締法違反が1人であった。
- 学職別では、有職少年5人、無職少年3人、中学生、高校生がそれぞれ2人であった。

覚醒剤等薬物乱用少年の年別推移

